

活動名称 (40字以内)	「東大の森」の教育研究を支援しよう！ ～日本最初の大学演習林で体験する森林作業～				
団体名等	大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林				
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順		
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査		
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動		<input type="checkbox"/> 面接		
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動	募集人数	3	人	
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動				
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動					
活動方法	<input type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う				
大学院学生	<input checked="" type="checkbox"/> 含む <input type="checkbox"/> 含まない				
参加資格等	学部学生及び大学院生				
活動期間	2023/8/22(火) ～ 2023/8/25(金) 3泊4日	主な活動予定場所	附属演習林千葉演習林(千葉県鴨川市天津)		
目的	千葉演習林で通常行っている教育研究の支援業務(森林作業)を体験する機会を提供する。体力、知力、精神力を駆使して東京大学の教育研究の「縁の下の力持ち」となろう。				
具体的な内容 (800字程度)	<p>千葉演習林は日本の大学演習林発祥の地であり、127年間にわたって東京大学の森林に関する教育研究を支援してきた。その支援業務の一端を以下の2つの活動を通じて体験してもらう。</p> <p>体験①「苗木畑に夏が来た、君は徒労の使者となれるか！」 千葉演習林で行っているマツ材線虫病抵抗性マツの苗木を育てる作業の中で、最も重要でありかつ最も過酷な夏の苗木管理作業を体験する。炎天下の苗木(播種床、床替床)の草取り、歩道の刈り払い、獣害防護電気柵の点検保守などを行う。</p> <p>体験②「君のあとに道は出来る、山の神への道を作ろう！」 千葉演習林でさまざまな活動を行うための基盤となる歩道の整備作業を通じてさまざまな山の技を体験する。整備する歩道は「山の神の祠」に到達するための歩道であり、先人から引き継がれてきた信仰の意味にも触れることが出来る。森林内の資材の伐採、搬出、加工、整地など歩道作り全般にわたる作業を行う。</p> <p>※上記の活動期間に3泊4日で実施する。参加者の都合により2泊3日でいずれか1つの活動を選び参加することも可。</p>				
備考	学年、性別等の条件は特にないが、活動内容をよく読んで無理なく参加できることを自分で確認すること。受入人数は最大3名とする。森林内で行う作業時(林内見学も含む)は夏でも安全管理上長袖長ズボンで行う。活動内容によっていろいろな道具を使うので指導にあたる教職員の指示を守ることを徹底して欲しい。いずれの活動も宿泊は千葉演習林の宿泊施設を使う予定であり手配は主催者側で行う。すべての活動の集合場所はJRの安房鴨川駅とする予定である。				
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)		その他*特記事項は以下に記載 左の費用は演習林滞在中(3泊4日)の食費(その他)込みのおおよそ金額である。附属演習林が管理する宿泊施設なので本学学生の施設使用料(宿泊費)は免除となる(シーツ洗濯代として600円が別途必要)。		
	交通費	5,000 円			
	宿泊費	600 円	<table border="1"> <tr> <td>奨励金額</td> <td>4,600円(予定)</td> </tr> </table>	奨励金額	4,600円(予定)
奨励金額	4,600円(予定)				
	食費	6,400 円			
	計	12,000 円			
ウェブサイト等	昨年度の高校生ゼミナールや体験活動プログラムの様子が千葉演習林のホームページ(http://www.uf.a-u-tokyo.ac.jp/chiba/)やフェイスブック(https://www.facebook.com/東京大学-千葉演習林-509050409292447/)に投稿されています。				